

秘

大正十年七月二十日會議決議案

外務省官制中改正ノ件

参照添附

勅令第 號

外務省官制中左ノ通改正ス

第五條ノ二第六條ノ二第六條ノ三第七條ノ二及附則ヲ削ル

第三條 外務省參事官ノ定員ハ專任三人、外務大臣秘書官ノ定員ハ專任二人、外務書記官ノ定員ハ專任十八人トス

第六條 歐米局ニ於テハ亞細亞局ノ掌  
ヲサル外交事務ヲ掌ル

第七條 通商局ニ於テハ通商航海及移  
民ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條 條約局ニ於テハ條約及涉外法  
規事項ニ關スル事務ヲ掌ル

第九條 情報ニ關スル事務ヲ掌ラシム

外ニ

ル為外務省ニ情報部ヲ置ク

第十條 情報部ニ部長及次長一人ヲ置

ク

部長ハ外務次官ヲ以テ之ニ充ツ但シ  
外務部内ノ親任官又ハ勅任官ヲ以テ  
之ニ充ツルコトヲ得外務大臣ノ命ヲ  
承ケ部務ヲ掌理ス

次長ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ部長  
ヲ輔佐ス

第十一條 外務省ニ外務事務官專任三  
十五人及外務理事官專任八人ヲ置ク  
奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル  
第十二條 外務省ニ翻譯官專任十人ヲ  
置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ文書翻

外 三

譯ヲ掌ル

第十三條 外務省ニ電信官專任二人ヲ  
置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ電信符  
號ニ關スル事項ヲ掌ル

第十四條 外務省ニ技師專任一人ヲ置  
ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌  
ル

第十五條 外務屬ノ定員ハ專任百四十  
二人トス

第十六條 外務省ニ翻譯官補專任五人  
ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ文  
書翻譯及通譯ニ従事ス

第十七條 外務省ニ技手專任六人ヲ置  
ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ電信建

外  
四

築其ノ他技術ニ従事ス

附  
則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照

○外務省官制

明治三十一年  
勅令第二百五十八號

第三條 外務省專任参事官ノ定員ハ專任三人

專任外務大臣秘書官ノ定員ハ專任二人 專任

外務書記官ノ定員ハ十五人ヲ以テ定員專任

十八人トス

第五條<sup>第六條</sup>ノ二 歐米局ニ於テハ亞細亞局ノ掌ラ

サル外交事務ヲ掌ル

第六條<sup>第七條</sup> 通商局ニ於テハ通商航海及移民ニ關

スル事務ヲ掌ル

第八條 條約局ニ於テハ條約及涉外法規

事項ニ關スル事務ヲ掌ル

第九條 情報ニ關スル事務ヲ掌ラシムル為外

務省ニ情報部ヲ置ケ

第十條 情報部ニ部長及次長一人ヲ置ク

部長ハ外務次官ヲ以テ之ニ充ツ但シ外務部

内ノ親任官又ハ勅任官ヲ以テ之ニ充ツルコ

トヲ得外務大臣ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

次長ハ勅任トス上官ノ命ヲ承ケ部長ヲ輔佐

ス

第十一條 外務省ニ外務事務官專任二十二

人三十五人及外務理事官專任八人ヲ置ク奏

任トス各局ニ分屬シ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ

掌ル

第十二條

外務省ニ翻譯官專任五人十人ヲ置ク

奏任トス上官ノ命ヲ承ケ文書翻譯ニ從事ス

ヲ掌ル

第十三條 外務省ニ電信官專任二人ヲ置ク

奏任トス上官ノ命ヲ承ケ電信符號ニ關スル

事項ニ從事スヲ掌ル

第十四條 外務省ニ技師專任一人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十五條 外務省屬ノ定員ハ專任百二人ヲ以テ

第八條 定員百四十二人トス

第十六條 外務省ニ翻譯官補專任五人ヲ置ク判

第九條 任トス上官ノ指揮ヲ承ケ文書翻譯及通辯通

譯ニ從事ス

第十七條 外務省ニ技手專任六人ヲ置ク判任

トス上官ノ指揮ヲ承ケ電信及營繕事務建築

其ノ他技術ニ從事ス

夕七

附則

第十一條 本令ハ明治三十一年十一月一日ヨ

リ施行ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



秘

大正十年七月二十日會議  
決議

奏任文官特別任用令中改正ノ件 参照添附